

## ○ 平成29年度中央卸売市場事業会計予算について

### 1 市場事業会計の現状について

札幌市中央卸売市場における取扱額は、少子高齢化や流通構造の変化、消費者ニーズの多様化などにより平成10年度をピークに減少傾向にあります。近年は、単価高の影響により横ばいの状況となっています。

一方、平成11年度から平成18年度まで実施した、市場再整備による施設・設備の減価償却費が高い水準で推移していることから、市場事業会計の収支は赤字が続いている状況です。

また、再整備事業に伴う企業債の元金償還が平成23年度から本格化しており、その後10年に亘って高い水準で推移することに加えて、経年劣化が進む水産保冷配送センターや再整備事業初期の立体駐車場などの施設について、修繕費の増加が見込まれる状況から、今後とも厳しい市場運営が続くものと予想しています。

### 2 平成29年度市場事業会計予算の概要

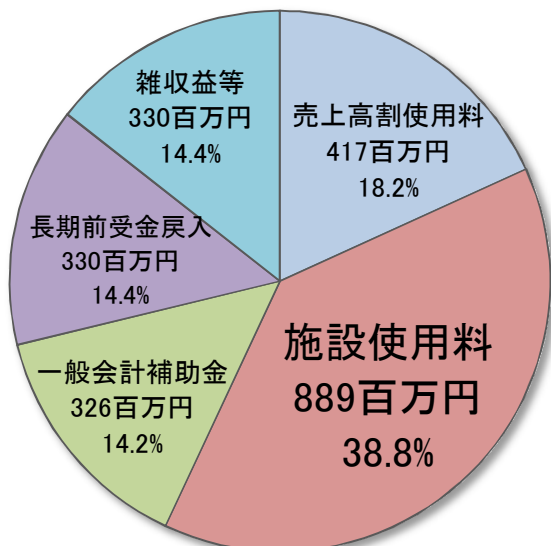
#### (1) 市場整備

##### ・設備機器類更新

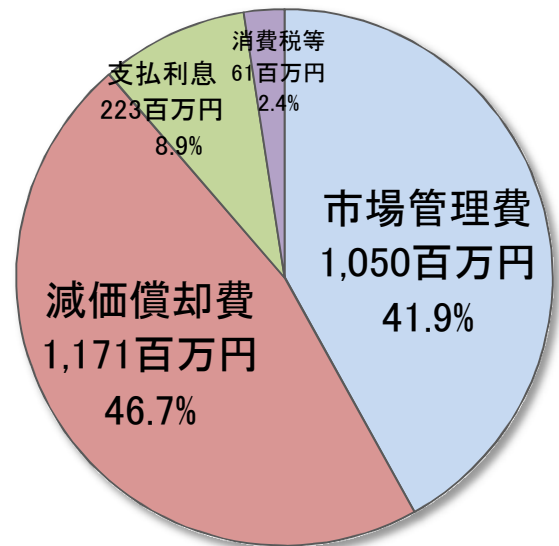
老朽化に伴う市場設備の機器類の更新を行います。

次に、1年間の経営成績である収益的収入及び支出の状況は、下の円グラフのとおりですが、市場管理費の削減や企業債の支払利息の減少などにより、平成28年度予算と比べて8,100万円収支が好転しています。

収益的収入(2,292百万円)



収益的支出(2,505百万円)



注: 円グラフの金額には、消費税及び地方消費税を含んでおります。